

広げよう！優良実践の輪！

～平成29年度 優良実践校の取組～

取組 7

地域の教育力・ICTを生かした 学校力向上の取組

新見市立新砥あらと小学校

1 はじめに

本校は全校児童33名の複式校です。自然豊かな環境の中で、児童は伸び伸びと学校生活を送っています。本校では、地域の資源を活用した体験活動の充実と、ICT活用による視覚的で分かりやすい授業づくりに重点をおいて教育活動に取り組んでいます。

2 取組の概要

(1) 地域の資源を活用した体験活動の充実

5・6年生児童を対象に、学校運営協議会(CS)の活動として「あら塩っ子宿泊体験(1泊2日)」を実施しました。ふるさとの自然や産業文化を生かした豊かな体験活動を通して、何事にも積極的に取り組み、たくましく生きる新砥っ子の育成を図ることを目的としています。



地域のお寺での坐禅

CS委員のご協力を得ながら、運動場へのテント設営や食事の準備を行い、寺での座禅体験や夏祭り、敬老会にも参加しました。中でも、テント設営や段ボールピザ作りでは、初めて体験する児童が多く、真剣に取り組み、達成感がありました。地域が主体的に学校運営に参画する仕組みが構築され、本校の重点目標「児童の心磨き」につながる活動となりました。



プログラミング学習による学び合い

(2) ICT活用による視覚的で分かりやすい授業作り
新学習指導要領でも求められている確かな学力を育成するために、プログラミング的思考力や表現力の向上を目指した授業改善を行いました。まず、児童の発達段階に応じたICT機器の技能習得のため、情報活用能力についての系統表を作成しました。それによって、学年ごとに見通しをもって指導を行うことができました。次に、5・6年生は、新見市ソフトバンク社会貢献事業に参加し、人型ロボットPepperを活用したプログラ

3 終わりに

今後、地域の教育力とICTを生かした取組を充実させ、「チーム新砥」一丸となって学校力向上を目指していきたいと思えます。そして、ふるさとを愛し、将来を担うことのできる人材を育成しようという意識の醸成及び気風を高めていきたいと思えます。(教頭 岡 考志)

ミング学習に取り組みました。児童が考えたテーマは、「ふるさと新砥に役立つPepper」です。効果的なプログラム作りや新砥の良さが伝わるプレゼンテーションの方法について話し合い、試行錯誤を繰り返しながらより良いものに練り上げていきました。その際、失敗から学ばせることも大切に、児童自らが考え、実行し、改善を次につなげていく過程を丁寧に支援していきました。その結果、言語活動が充実し、主体的な学びへと深めることができました。「Pepper社会貢献プログラム」スクールチャレンジ成果発表会で金賞を受賞したことも、児童にとって大きな自信となりました。